

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度第3回川越市交通政策審議会
開催日時	令和3年10月11日（月） 午後2時 ～ 午後3時
開催場所	ウェスタ川越2階 会議室1
出席者	別添委員名簿のとおり
傍聴者	2名
欠席者	東武バスウエスト株式会社 山科 和仁 委員 埼玉県川越警察署交通課 木暮 尚巳 委員
事務局職員	都市計画部 本間部長 交通政策課 間仁田課長、榎本副課長、田畑副主幹、中村主査 山田主任、佐々木主任
会議次第	別紙のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度第3回川越市交通政策審議会次第</li> <li>・ 委員名簿兼出席者名簿</li> <li>・ 席次表</li> <li>・ 【資料 1】川越市都市・地域総合交通戦略【追補版】（素案）</li> <li>・ 【参考資料】川越市都市・地域交通戦略の中間評価及び骨子案に対する交通政策審議会及び公共交通利用促進協議会での意見について</li> </ul>
会議要旨	<p><b>【会長・副会長の選任】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉大学大学院 久保田 尚 委員を会長に選任</li> <li>・ 川越市自治会連合会 新井 正司 委員を副会長に選任</li> </ul> <p><b>【川越市都市・地域総合交通戦略【追補版】（素案）について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より資料1、参考資料をもとに説明を行い、事務局案に今回の審議会の意見を反映させ進めることに決定した。</li> </ul>

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	事務局から、当審議会は特段の理由がない場合は原則となっていることから、傍聴希望者について入室を認めてもよろしいか交通政策審議会に諮ったところ、異議はなく、傍聴希望者の入室が認められた。
事務局	<b>1 開会</b>
事務局	<b>2 あいさつ</b> 本間部長からあいさつ
	<b>3 議事</b>
	(1) 会長・副会長の選任 指名推薦の方法により、久保田 尚委員が会長として推薦され、委員に諮ったところ、異議はなかったため、引き続き会長に決定した。 また、同方法により、新井 正司委員が副会長として推薦され、委員に諮ったところ、異議はなかったため、引き続き副会長に決定した。
事務局	(2)川越市都市・地域総合交通戦略【追補版】(素案)について 事務局より資料1、参考資料をもとに説明。
議長(会長)	何か意見、質問等あるか。
委員	デマンド型交通かわまるについて、運転手が運転時に道路状況の確認を行っていると思うが、何件くらい道路の舗装について意見があるか。
事務局	運転手に道路の状況をリアルタイムで確認をさせていないのが現状である。安全な運行に尽くしていただくため、本来の業務に専念するように伝えている。そのため、道路の舗装についての情報収集は行っていない。
委員	自転車シェアリングについて、自転車を走行する際の道路の状況についての意見・要望等はあるか。
事務局	直接的に、自転車走行の上で道路の状況が悪いという声はアンケート等

	<p>で挙がってはいないが、中には街中を走行する際に、人が多くて自転車の走行がしにくい等の意見はある。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1のP6施策の進捗状況とP7の指標の達成状況についてだが、P6の「2-1交通円滑化のための道路ネットワークの整備」の評価は「遅れ」となっているが、P7の同施策の方針の箇所について、指標の達成状況が「◎」となっている。ここに矛盾はないのか。同じことだが、P6の「3-3拠点性を高める交通結節機能等の充実」についても「遅れ」となっているが、P7の同施策の方針の箇所について「○」となっている。</p>
<p>事務局</p>	<p>施策の進捗状況と指標の達成状況について、ずれが生じているというご指摘は前回も頂いており、できるだけ解消できるようにこの追補版の資料の中では施策の組換えや目標値の変更、あるいは指標を新たに適切なものに見直したところである。実際にずれが生じてしまっている主な原因としては、実際の事業の内容とその指標が一部かみ合っていない部分があったためであるため、今回見直しを行っている。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>現状記載されているP6とP7の内容で整合が取れていないのではないか、という指摘だと思うが。</p>
<p>事務局</p>	<p>P7施策の方針「2-1交通円滑化のためのネットワークの整備」の都市計画道路の整備率については、目標値を上回っている数値が出ている。これについて、道路の整備が進んでいない部分もあるが、元からの目標設定が計画道路に対しての目標値の設定ではなく、単純に既存の道路に対する何倍という計算方法をとっており、精緻にやっていない部分があったからと考える。そのため、今回その目標値について見直しを行い、実際に合った数値に引き上げたところである。本来であれば、今後の事業計画を基にして目標値の設定をしなければならなかったところを、単純に現行数値の何倍としたところで、ずれが生じてしまっている。</p>
<p>議長（会長）</p>	<p>これからP6、P7は改善されるということか。</p>
<p>事務局</p>	<p>P6、P7については現状の評価を行い、P60、P61で見直しをしている。例えば、「2-1交通円滑化のための道路ネットワークの整備」の指標である都市計画道路の整備率については、令和3年度の目標値が46.3%となっているが、令和2年度の数値が既に48.5%であり目標達成済みであったため、令和8年度の目標を48.9%に引き上げたところである。</p>

	<p>このように目標値の修正を行っている。</p>
事務局	<p>5年前に事業と指標を作ったときに、一部対応関係が精緻でない部分があった。その5年前に作った指標に愚直に評価を行ったものがP6、P7となっている。そのため、ご指摘いただいたとおりに生じているものがある。次の5年間に対しては、目標値を精緻にするため、P60、P61で修正を試みているものであるという意味で記載をしている。</p>
議長（会長）	<p>P60、P61の新しい指標を用いて、これまでの5年間を評価した指標を使うことは出来ないのか。PDCAサイクルで何をチェックするのだが、この5年間の、例えば都市計画道路の整備率などの成果をチェックするということもあるし、評価の仕方自体をチェックしてもいいかと考える。この5年間はこの評価指標を作ったが、どうも比べてみると矛盾が生じてしまうので、評価の仕方を変えることにして、変えた結果を今回出すことは悪くないと考える。このままP6、P7を出してしまうと分かり難い部分が多いと言われてしまうのではないかと。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいた件を踏まえ、改めて整理をさせていただきたいと考える。</p>
委員	<p>資料1のP48の「施策の方針2-3」東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした交通アクセス性の向上と記載があるが、令和4年から令和8年に向けての戦略において、もう既に終わったものについては落としても良いのではないかと。観客等の輸送力強化においても、まさにオリンピック・パラリンピックについての記載だと思う。他の施策に載せて、あえてこのオリンピック・パラリンピックについての記載をしなくもいいのではないかと考える。</p>
事務局	<p>今回の資料は、10年間の現行の計画の追補というものなので、このような形で掲載を行ったところであるが、ご意見を踏まえて検討したいと思う。</p>
議長（会長）	<p>P50にゾーン30プラスの推進とあるが、これはP60、P61の中に記載はしないのか。この評価はどう行うのか。</p>
事務局	<p>P61の施策の方針「3-1歩行環境の改善と多様な移動手段の確保」では、関係課へ出せる指標を伺い、新しく見直しを行ったものが3つであるためこのように記載を行ったが、今の意見を踏まえて関係課に再度確認</p>

議長（会長）	<p>を取る。</p> <p>今年、千葉県で悲惨な事件が起きたこともあり、グリーンベルトの整備箇所では市民の期待にどれだけ答えられるのか、と考える。ゾーン30プラスは、それを遥かに超えた素晴らしい対策なので、ぜひ検討いただきたい。</p>
委員	<p>議論を行った我々は、この指標達成のためにこの施策パッケージを進めていくということを理解できるが、市民がみると、施策パッケージの方向性の記載がある箇所に併せて評価指標がくっついてないと分かり難いのではないか。例えばP61の方向性3でグリーンベルトの整備箇所数が目標値になっている現状を見ると、これをそのまま進めれば達成できる、ということになるため、この辺の整理をすることが必要と考える。この部分が、施策の進捗状況と指標の達成状況のずれのそもそもの話だと考える。</p> <p>中間評価なので大幅な変更はできないのかもしれないが、そもそも指標を達成するためのパッケージとして本当に最適なのかという整合性が取れていない部分が歪を生んでいるのだと思うので、それを発見しやすくするためにも、施策パッケージをこの目標を達成するためにこの施策なのだ、というような見え方にしたほうが整理しやすいのかと考えたので、検討いただきたい。</p>
委員	<p>今の指摘は非常に正しいと考える。P6、P7の中間評価の視点がかなり違うので、合わせようとしても非常に苦勞するかと思う。構成を変えて、真っ当なものはP2のPDCAサイクルのとおりに行えばよいのだが、実際の施策・具体的な計画まで行くと違う話になってくるので、順番や構成を考えることを意識してはどうだろうか。検討をしていただきたい。</p>
議長（会長）	<p>本日、様々な意見が出ている。今回は素案ということだが、今後どう進めていくのか。</p>
事務局	<p>これまで予定していた進め方としては、令和3年11月8日に再度交通政策審議会を開催させていただき、そこでこの素案を原案という形に改良し、承認をもらった後、パブリックコメントを実施し、さらに多くの方の声を集めていこうと考えていた。しかし今回、各委員から様々な意見をいただけたため、次回開催日までにもう一度修正した素案について委員の皆さまの意見を伺いたいと考えている。日程的に厳しいため、事前に修正案を委員の皆様に送付し、意見をいただいたうえでそれを反映したものを次</p>

	<p>回の審議会で諮らせていただきたい。</p>
議長（会長）	<p>今日の意見を踏まえて、事務局で修正した素案を作り、その修正された素案を事前に各委員へ送付し意見を伺い、何か意見があったら事務局に言っていたら、11月8日の審議会でその意見を反映させた原案が出てくるので、それを議論し、了承が得られたら、パブリックコメントを行う、という流れになるということか。</p>
事務局	<p>そうである。</p>
議長（会長）	<p>その他、意見や質問はあるか。</p>
委員	<p>P61の施策パッケージ3-1の指標を見ると、先ほどゾーン30プラスの話もあったが、指標の方がそもそも事業が達成しうる内容だと考える。そうだとしたら、施策ではなくこの事業をそのままやっての方が指標を達成できるのではないかというように見えてしまう。その整合性が取れていないと感じる。</p>
議長（会長）	<p>他に意見や質問はあるか。</p>
委員一同	<p>なし。</p>
議長（会長）	<p>それでは、議事の第2号「川越市都市・地域総合交通戦略【追補版】（素案）について」は、事務局案に本日の意見を踏まえて進めていくとのことよろしいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。          ➡事務局案に、本日の意見を反映させ検討を進めることになった。</p>
	<p><b>4 その他（その他）</b>          ➡特になし。</p>
	<p><b>5 閉会</b></p>
	<p>以上</p>